



社会福祉法人

東京弘済園だより

No.14
2023 夏号

理事長就任と退任のごあいさつ



退任のごあいさつ

社会福祉法人 東京弘済園
前理事長 羽井佐 利彦

この度、6月14日をもちまして東京弘済園の理事長職を退任いたしました。

令和元年10月から約3年9ヶ月と短い期間でしたが、医務室長(診療所長)、ケアハウス施設長、また理事長として大過なく務めることができたのは全スタッフと役員をはじめ、ご利用者・ご家族ならびに関係団体皆さまのご協力のおかげと感謝しております。

日本では令和2年1月から新型コロナウイルスによるコロナ禍が始まりました。振り返りますとコロナ抗原定性検査・PCR検査・コロナワクチン(法人内で2,318件接種)とコロナを中心に仕事してきた4年弱だったように思います。5類になるまでの約3年間、法人内の老人ホーム三施設において累計で16名の入居者がコロナに感染しましたが、重症化せず治癒されたことは本当に幸いでした。全スタッフの努力と入居者、ご家族皆さまのご理解、ご協力の賜物であります。多摩府中保健所にも大変お世話になりました。

平成22年に超高齢社会となり今後本格的な多死社会を迎える我が国では、高齢者施設の役割は増々大きくなります。そして、共働きが増えていく状況では保育園もさらに大切な存在になります。当法人が担っている社会福祉という重要な使命を果たすべく、今後ともこれまで同様ご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



就任のごあいさつ

社会福祉法人 東京弘済園
理事長 森本 雄司

この度、羽井佐前理事長の退任に伴い、6月14日開催の理事会で東京弘済園理事長に就任いたしました、森本雄司です。

日頃より当法人の運営に際しまして、施設のご利用者様をはじめ、ご家族様、地域の皆様方からの温かいご支援とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

令和3年6月に鉄道弘済会の会長に就任し、同時期に東京弘済園の理事として、これまで2年間法人運営に携わっておりますが、今回理事長という重責を担うことになり、改めてその職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

当法人を取り巻く環境は決して平坦ではなく、施設設備の劣化対策に加え、人材の確保・育成、感染症対策など、多くの課題を抱えておりますが、皆様のお力添えをいただきながら、一步一步着実に前進できるよう取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、ご利用者様に満足いただけるきめ細やかなサービス提供に努めるとともに、三鷹地域における高齢者福祉の拠点として、引き続き地域の皆様に信頼される法人となるよう、職員一丸となって取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

目次

P2…特別養護老人ホーム 弘済園
P3…養護老人ホーム 弘寿園
P4…ケアハウス 弘陽園
P5…弘済ケアセンター

P6…三鷹市高齢者センター けやき苑
P7…三鷹市東部地域包括支援センター
三鷹市西部地域包括支援センター
P8…弘済保育所(おひさま保育園)



ホームページ



Instagram

買い物クラブ

久しぶりの外出、
とても楽しいわ♪

このお菓자에決めました!!

どれにしようかなあ

これに
しようかな☆

これも買おうかな♪

コロナ禍で休止していた「買い物クラブ」
今年度より再開することになりました皆
さん、久しぶりの外出にとっても喜ばれ、大
きなスーパーで店内を回るだけでも楽し
いと、終始笑顔で過ごされていました♪
帰りの車内では『大満足』と感想をいた
だきました!!



介護の必要な高齢者をお世話
する施設です。

【入所定員100名】

介護度:要介護3～5

【ショートステイ定員10名】

介護度:要支援1～要介護5

かんぱ〜い

ビアガーデン 開店

2階食堂に特設
「ビアガーデン」が開店しました。
皆さん存分に楽しまれたご様子でした♪

楽しいで〜す!!
元気で〜す!!

誕 生 会



原則として65歳以上で環境上の理由、経済的な理由から居宅での生活が困難な方が入所する措置施設です。

【定員】 50名

毎月実施する誕生会。6月は中華の献立でした。
中華丼、餃子や杏仁豆腐、本格的な味わいでした。



お花見会



満開の八重桜を見ながらのお花見会をしました。
お菓子を食べながら、お仲間や職員の歌を楽しみました。



外食ツアー



4年ぶりに外食ツアーに出かけました。
お寿司、和食、洋食、中華のお店から、好きなお店を選んでいただき出かけました。



洋食のお店では猫の顔をしたロボットが食事を運んできました。皆さん驚いていました。

ユニットあれこれ 萌ユニット編

パンプディングを皆さんと作りました。

萌ユニットでは、調理活動を通じて皆さんに料理をしていただくことと美味しいものを食べて楽しみを持っていただくことを大切にしています。昨年はコロナウイルスの影響も大きく実施回数が少なくなってしまう、入居者の皆さんからも「またやろうよ」というお声を頂いていました。久しぶりの活動ができて皆さんとても喜んでいました。

早速「次は何を作ろうか」というお話も出ていたので、今年度は以前のようにたくさんの活動を行って、皆さんの笑顔が見られると良いなと感じております。



【一般型】20名・60歳以上
自立～要支援2まで

食事・相談などの基本サービスの提供を受けながら生活していただけます。

【介護型】40名
特定施設入居者生活介護の施設

「要介護1～5」の方に必要な介護支援を提供し、自立した生活を送っていただけます。



紬ユニット セタのアフタヌーンティー

7月7日 セタの日に「アフタヌーンティー」を催しました。

コロナも5類になったとはいえ、集団生活である施設では食堂席の亚克力板はまだ外せませんし、マスク着用のお願ひも引き続きお願いしている最中です。なんでもない1日が心地よい刺激で満たされ、ふっと楽しくなる…そんなお楽しみ会を…とスタッフで話し合い、セタ会を企画しました。

季節のフルーツをたっぷり使用したフルーツポンチとドリップで淹れたコーヒーをご用意しました。アレンジとしてブルーベリーをいれたことで優しい紫色のポンチが出来上がりました。前の週に皆さんで作成した短冊を飾った笹飾りを据えた食堂にコーヒーの香りとおしゃべりの花が満開に咲きました。



ごちそう食 『シェフの気まぐれランチ』



弘陽園では楽しく潤いのある生活が送れることを目的として、一部負担を取り入れた、特別なお食事が選べるサービスを提供しております。これまでは和食や中華料理を中心に提供してきましたが、6月24日に初めての『洋食』に挑戦しました。メニューは「未来工房にじ(就労支援B型)」から購入したパンや「ビーフシチュー」「蟹グラタン」「フルーツポンチ」などを用意。洋食ですから、希望者にはワインをふるまいました。皆さん喜んで召し上がっています。

パンがフワフワしてる、すごいご馳走で食べきれない、ビーフシチューは手が込んでるわ等、皆さんお腹いっぱい召し上がりました。



弘済ケアセンター

弘済園通りは、毎年桜の時期に桜のトンネルができ、また芝生の園庭には八重桜が見事に咲き誇り、屋外歩行でお花見を楽しめます。



今年はホールの壁面に皆さんで桜並木を作りました。あまりに素敵に出来たので、「蝶も舞う桜並木を通り抜け」と壁画に題名をつけてくださる方もいらっしゃいました。



ご自宅にお住まいの高齢者の方々がその方らしくご自身の力を発揮しながら、自立した生活を継続できるよう支援していきます。
通所介護では、健康チェック、介護、食事、機能訓練、レクリエーション等のプログラムに参加していただきます。

【通所介護 定員52名】
・通所介護(要介護1～5) 40名
・三鷹市日常生活支援総合事業(事業対象者・要支援1・2) 12名
【認知症対応型通所介護(居宅介護支援)】

企画活動



ステンシルで手作り扇子



火曜フリー活動

火曜フリー活動では、昨年枝豆作りに挑戦しましたが、残念ながら実を付けることなく枯れてしまう結果となりました。しかし、今年は胡瓜とミニトマトの栽培にリベンジ！土や肥料、ゴールデンウィークのお休みの間の水やりなどを試行錯誤し、なんと今年はたくさん収穫することができました！メンバーで収穫を祝いました♪



大きくなあれ



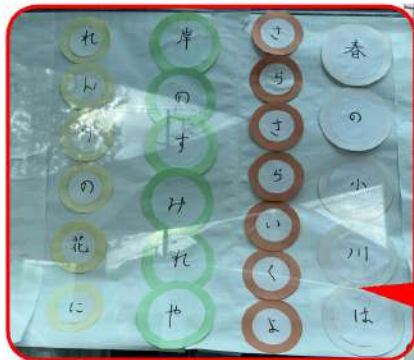
摘花



収穫祭！



ソウルでかんぱ～い♪



祝 卒園!



窓越しですが、対面でお祝いしました



記念写真
ハイ、チーズ!

住所:三鷹市深大寺2-29-13



自分らしく生きがいのある、快適で豊かな日常生活を送ることができるよう、機能訓練、趣味活動、介護、入浴、食事などのサービスを提供し、心身機能の維持や仲間づくりをお手伝いします。また、介護予防に関する取り組みと定着をお手伝いします。

【通所介護 定員62名】

- ・通所介護(要介護1~5)
- ・三鷹市日常生活支援総合事業(事業対象者・要支援1・2)
- ・認知症対応型通所介護

【居宅介護支援】

50名
12名



脳を活性化!? 智恵泉クイズ!



けやき苑の活動グループ、水曜午前の智恵泉の会のメンバーでクイズを作りました。皆さん考えてみてくださいね! 答えは紙面のどこかにあります



1. 三鷹で最初に栄えたところはどこでしょう?

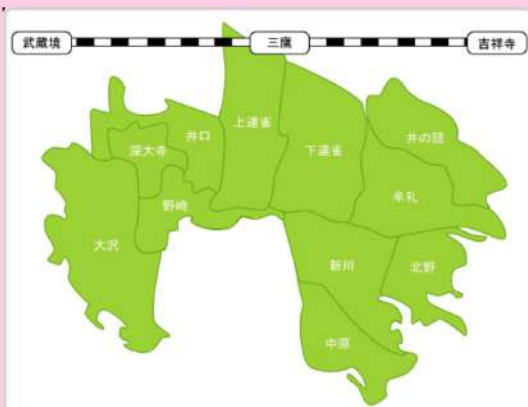
- ① 野崎 ② 連雀 ③ 牟礼

2. 市内で現存する水車はどれ?

- ① 吉野水車 ② 大沢の新車 ③ 大沢の萬次郎水車

3. 三鷹市内の町の数はいくつ?

- ① 11 ② 10 ③ 12



* 三鷹市ホームページより

4. けやき苑の所長の名前は何でしょう?

- ① 加藤正樹 ② 近藤正樹 ③ 工藤正樹

5. けやき苑ができて今年で何年?

- ① 25年 ② 27年 ③ 30年

6. けやき苑の利用者さんは何人通っているのでしょうか?

(5月末現在のご利用者の登録人数です)

- ① 165人 ② 157人 ③ 148人



地域包括支援センター

三鷹市の委託を受けた公的な立場で、地域の高齢者が、住み慣れた自宅で、その人らしく、落ち着いた生活を継続することができるよう、心身の健康保持、適切な医療及び介護保険をはじめとする各種サービスや地域の社会資源の利用など、生活全般に関するご相談に対応します。

三鷹市東部地域包括支援センター

地域の活動「転倒予防！ひまわり体操倶楽部」に学生が参加



活動の様子

今年度、杏林大学地域看護学研究室の卒業研究に協力しています。13人の学生が「地域のつながり」をテーマにアンケートや個別インタビューを実施。

その一環で、地域活動に参加しました。世代を超えた交流に花が咲き、高齢者メンバーからは「地域への思い」や「抱えている不安」等を伺うことができました。

参加した学生が地域を支える一員となって戻ってきてくれることを願っています。



弘済園内1階

☎ 0422-48-8855

【担当地区】三鷹市
牟礼・北野
新川2～3丁目

地元の杏林大学と色々な形で連携を深めています。

「認知症サポーター養成講座」を行いました。

杏林大学の看護学生を対象に認知症サポーター養成講座を行いました。

「認知症と診断されても自宅で生活をしている人は大勢いる。」「日常生活での困りごとは物忘れだけではない。」という説明に参加した学生は目を輝かせ、「これからも趣味の教室に通い続けるために」というワークでは、AIやスマホアプリを使って本人に知らせるといった学生らしい発想がたくさんでした。

「認知症にやさしいまち三鷹」の一員として、今後の活躍を期待しています。



講座の様子

三鷹市西部地域包括支援センター

「いのじん終活セミナー」報告



去年好評だった終活セミナーをバージョンアップして、今年度はより具体的に終活に取り組めるよう、計6回のセミナーを様々な講師に講演いただく企画として開催します。

第1回目は6月22日(木)に『誰にも訪れるエンディング期への備え』として去年12月にお招きした、(株)OAGライフサポートさん(行政書士)に講師をお願いしました。今回のセミナーでは、旅立つ場面だけでなく認知症や病気等さまざまな場面を考えて、事前に誰かに相談したり託したりしておく事が大切であるという「終活」の総論的な内容でした。

参加者のみなさんからは「次回以降もセミナーを通して終活について一步步備えていきます」と今後の取り組みにも積極的な声が聞かれています。以降のセミナーでは「認知症」「在宅介護サービス」「在宅医療・終末期の医療」「入所施設」「遺言・相続」などについて学んでいく講演を予定しています。



けやき苑内1階

☎ 0422-34-6536

【担当地区】三鷹市
井口・深大寺
野崎2～4丁目

いのじんニュース のぞみサロン&いのじん保健室

5月に井口5丁目集会所にて、三鷹警察署の協力を得て、交通安全や防犯についての講話を聴いています。自転車の事故の実際の映像を観たり、着用(努力)義務とされているヘルメットを実際に手にとってみたりと、あらためて事故の防止ならびに防犯に対する意識の向上に役立ちました。



『いのじん』とは？

『い』⇒ 井口地区

『の』⇒ 野崎地区

『じん』⇒ 深大寺地区

3つの頭文字を
合わせたものです。

おひさま保育園



豊かな自然の中で、おもいきり体を
動かしのびのびと遊んでいます!!



今年度も芝生広場の八重桜が綺麗に咲いたので、八重桜の下で16周年の人文字の記念撮影をしました。敷地内には、子どもたちが植えたチューリップの花が咲き、スナッ



プエンドウも大きく育ちました。こども達は夢中になってスナッエンドウを収穫し、給食で提供すると「あまくておいしい」という声が多く聞かれました。豆類が苦手なお友だちも自ら収穫した食材は、一口食べてみようという気持ちになったようです。野菜の栽培、収穫、食事を通して、食べることの楽しさを感じ、食への興味が広がると嬉しいです!!



春の遠足



令和5年5月17日に4歳児クラス、5歳児クラスは井の頭公園(西園)に、3歳児クラスはタイヤ公園に遠足に行きました。夏を思わせるようなとても良い天気の中、「あつい、あつい」と言いながらも子どもたちは遊具やおいかけこなど元気に体を動かして遊んでいました!!

子どもたちが何より楽しみにしていたのは、お弁当のようで、公園に着く前から「おべんとう食べたい」という声が聞かれ笑ってしまいました。

コロナ禍の際は、遠足も行くことができませんでしたが、コロナもようやく落ち着いてきて、子どもたちにとって楽しい活動を行うことが出来るようになってきました。今後も子どもたちの笑顔があふれる楽しい活動を行っていこうと思います。



保育理念

一人ひとりの子どもたちの
かけがえのない今と向きあう

【利用定員】 68名

【利用対象】 0歳～5歳

【利用可能サービス】

延長保育
地域子育て支援
障がい児保育



子育て支援のご案内

「一時預かり」と「あそび場」

一時預かり(一時保育事業)とあそび場(たんぽぽ広場、0歳～3歳のお子さんのあそび場提供)で、子育て相談・子育て講座・子育て情報発信を行っています。詳細につきましては東京弘済園ホームページをご覧ください。

(<https://www.kosaien.or.jp>)



ホームページ



おひさま劇場



当園は、子どもたち一人ひとりのかけがえのない今と向き合うという保育理念のもと子どもたちが自らの好きなこと、興味を持ったこと、熱中できることに取り組んでいます。その取り組みを通して、一人ひとりがお友だちや保育士と関わり、学び考え成長しています。

一年間の成長を演劇やダンス、合奏、合唱といった様々な方法で表現し保護者の方に観ていただく場がおひさま劇場です。令和4年度は、3歳児クラス、4歳児クラス、5歳児クラスとも演劇を行いました。最初は、ステージに立ち台詞を言うことが恥ずかしく、大きな声が出なかったお友だちも、活動を通じて、皆の前でも大きな声で台詞を言うことが出来るようになりました。このような姿を間近で見ることで、子どもたち一人ひとりの確かな成長を感じることが出来、保育者一同感慨深いものがありました。今後も様々な取り組みを通して、子どもたち一人ひとりの成長を支えていきます。

